



いのちのことば  
ジェン 4

2026 ねん  
3 がつ

# イエスさまとともにいるなら、おそれることはありません。

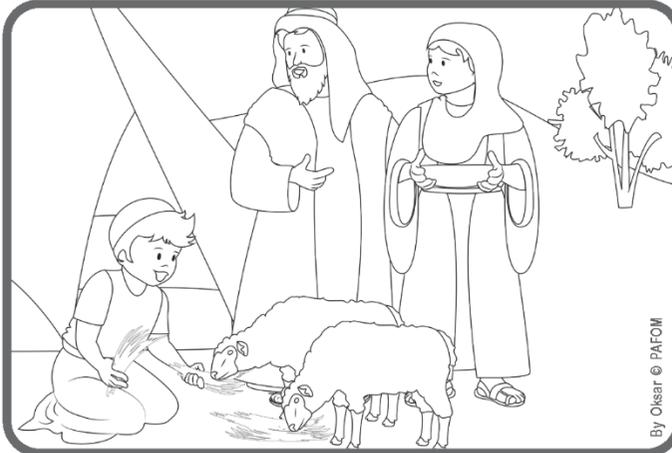
おきなさい。おそれることはない。(マタイ 17:7)



フォコラーレ  
focolare.org/japan



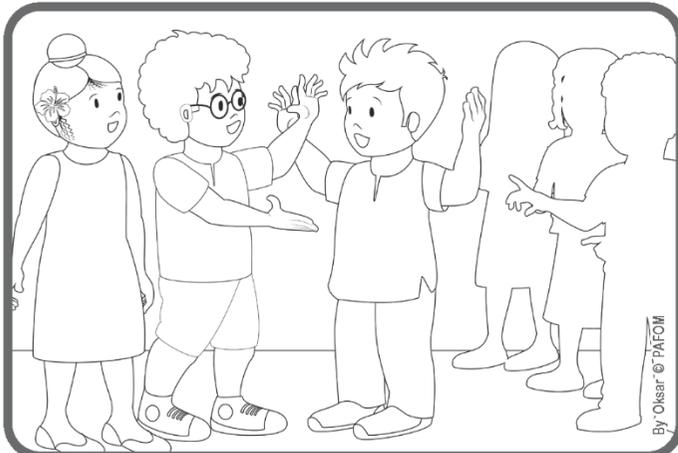
かみさまは、なんどもひとびとに「わたしを信じなさい」といいました。それは、すばらしいことをあげたいとおもっていたからです。たとえば、アブラムに「ここをでて、たばにいきなさい」といいました。



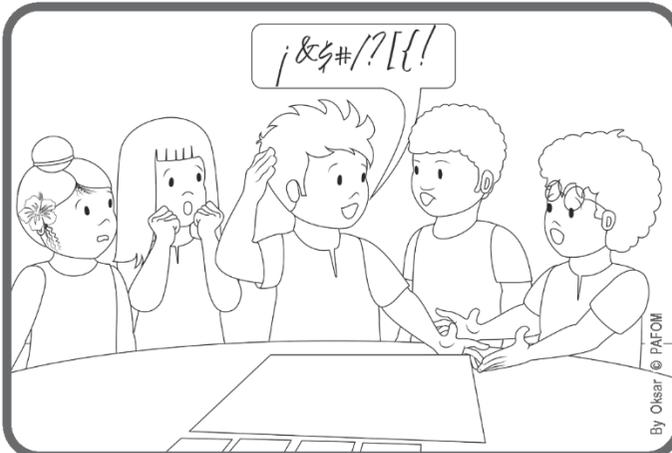
アブラムはすぐにはわかりませんでした。かみさまを信じてしゅっぱつしました。すると、おとしよりだったつまのサラにあかちゃんがうまれました。そのこどものしそんから、あとでイエスさまがうまれます。



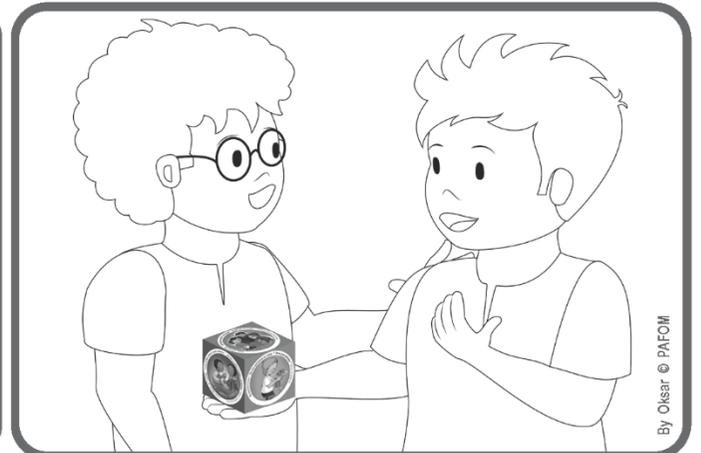
ペトロ、ヤコブ、ヨハネも、イエスさまにやまへつれていかれたとき、イエスさまがひかっていて、びっくりしました。でもイエスさまはいいました。「おきなさい。おそれることはない。」イエスさまといっしょなら、こわくありません。



ミゲルというおとこのこが、コロンビアにすんでいました。ミゲルは「あいのサイコロ」をつかうばしよにかよっていました。ひさしぶりにいくと、ともだちにあえてとてもよろこびました。



みんなであそんでいるとき、ミゲルがわるいことばをいってしまいました。みんなはびっくりして、「ここではそんなことばはつかわないよ。あいのサイコロのいうとおりになっているから。」といいミゲルはおそろしくなり、もうあそんでもらえないかもとおもって、こわくなりました。



すると、ひとりのこがえがおで「あいのサイコロ」をみせてくれました。ミゲルはたいせつなことをおもいだしました。そして「ごめんなさい」をいって、またやさしいきもちになりました。